

一泊移住が終わりました

《大阪府立青少年海洋センター・大阪ガス科学館》

一日目はずっと雨が降り続きましたが、二日目の海の活動時には雨も上がり、帰る頃には晴れ間ものぞきました。予定されていたプログラムはすべてできました。

大阪ガス科学館

天然ガス・エネルギー・地球温暖化に関する学習を行った後、予定にはなかった「懐かしのコマーシャル～1960年代・70年代・80年代・90年代・2000年代～」を見せていただきました。また、偶然にも十日に1回しか停泊していない LNG(液化天然ガス)タンカーの様子も見ることができて幸運でした。

海洋センター 一日目

海洋センターに到着して、入室・避難経路の確認などを終えた後、夕食までの1時間は3つのグループに分かれて(体育館でドッジボール・センター内の施設見学・ゆっくり休憩する)それぞれの時間を過ごしました。

夕食後は体育館でのレクリエーション。まずはチームジャンプ。制限時間の5分間をフルに使って何度もチャレンジ。『いっせえーの一でっ』の後に続く『いーち、にーい、さあん』と数える掛け声。全員での試技の前には学級歌を披露。結果は下表のとおりです。

		女子	男子	全員
1 組	一回目	27 回	31 回	3 回
	二回目	33 回	20 回	
2 組	一回目	24 回	17 回	3 回
	二回目	14 回	20 回	

ジャンプの後には4つのゲーム。「緊張緩和・信頼関係構築・課題解決等」のテーマに合わせ

て体を動かししました。

チームジャンプ・4つのゲームすべてに全力で取り組んでいたのが印象的でした。

海洋センター 二日目

朝まで断続的に降り続いた雨が上がり、朝食の後はいよいよ海の活動「カッター」です。

クラスごとに1艇ずつ、インストラクターの指示のもと岸を離れていきました。最初はオールを漕ぐ息が合わず、停滞していた船が何とか沖の方へと進んでいきました。無事に着岸して船を降りてきた多くの顔に「つかれた」という表情が滲み出ていました。

海洋センター 宿舎内

入室して素早く仕事を片付けた人の中には、すすんで階段掃除を始めたり、ドッジボールの時に、ボールがあまりまわってきていない人へ優しく声をかけたりする姿が見られました。

予定時刻より早く集合が完了した反面、集合した後の私語など切り替えられない人がいたことも事実です。そんな人に声をかけてやめるよう促す行動があったことは救われる思いです。

ここで少し考えてみてください。
 「次の場所へあるいは部屋へ移動する時に、班行動を意識して待っている」と「一人で動きたくないから誰かを待ってその場を動かない」では、同じように後ろが聞こえても周りに与える影響が異なると思いませんか？

しおりに載っていた一泊移住の目的「集団生活のルールを守り、団体の一員としての責任を果たす」「協力し合って生活する中で、仲間の良さを知り友情を深める」を達成することができたのでしょうか。それぞれが判断することになりますが、「できた・できない」いずれにしても、この二日間での活動を今後の学校生活に活かしてくれることを願っています。